



保育所民営化 市民のニーズにあっているか？

子育てと生活にゆとりをもてない世帯は確実に増えています。そんな世帯にとって保育所はまさにライフライン。市民の生活がひびくしている今だからこそ保育所の役割は重大です。

「広報名張7月2週号」で市では、平成22～24年度の3年間で現在市内の13公立保育所のうち、「国津保育所」を除く12園を民営化すると報じました。広報では保育所民営化はいいことだらけのように感じますが、記載されていない問題もあります。みなさんも是非一緒に考えてみて下さい。

保育所帰りで疲れて
ぐずる子をなだめな
がら大急ぎで夕飯の買い物を
する若いお母さん…こんな光
景を夕方のスーパーで見かけ
ませんか？



職場に近かったら
お迎えも
もっと早く
いけるのにな

帰宅後は家事が山ほど
本当はゆっくり
子どもに接してやりたいけど
とても時間がたりない
信頼できる保育士さんが
補ってくれて
なんとかやっている

1人親の家庭は
もっと大変だろうな

夫は賃金カット
ボーナスカット
母親も働かなければ
生活できない

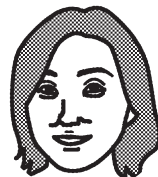
次の子を
産んでも
乳児保育の
受け入れ枠は
あるのかしら

ぎりぎりの
生活だから
保育料の負担も大変
もっと安くないかな

保育所を民営化すると何が変わる？

名張市の言い分

- ・ 財政支出削減
- ・ 多様な保育ニーズに応える
- ・ 保育士は公務員で正規職員が30%、臨時職員が70%だったのが、臨時職員は民間の正社員になれる。正規職員は公務員のまま。



利用者ニーズはどこへ

利用者が切望する保育料負担軽減や乳児保育受け入れ枠拡大の話は出ていません。既に民営化を実施した他地域の例を見ると、「新たな独自サービスに満足」という声もありますが、最大の懸念は保育の質の低下です。保育所運営費の8割は人件費です。非営利団体の経営とはいえ、人件費削減は避けられないよう、ベテランの給与を削り退職に追いやる・経験の浅い保育士ばかりに徐々に変えていく、などの状況が生まれています。

利用者・保育士の不安や疑問

- ・ 各園独自のサービスは通える園に望むものがあるとは限らない。
- ・ 人件費削減のためベテラン保育士が減り経験の浅い保育士ばかりになる可能性あり。
- ・ 幼児保育より多くの保育士が必要な乳児保育は希望者が多く枠が足りない。コストのかかる乳児保育を民間が増やすだろうか？
- ・ 障がい児など、特別な配慮のいる利用者が、それまでと同じ園に通えるのか？
- ・ 公務員なら昇給や待遇が保障され、おちついて保育に取り組めるが非営利団体の社員となると労働に見合う給与・待遇が保障されるか疑問。
- ・ 正規職員はまだ民営化されていない他園に移動するか、職種の変更をせまられる。

名張市議会は三重県保育協議会の「保育制度改革の見直しを求める意見書提出」の請願を全会一致で採択し、国へ意見書を提出しています。(2008年、12月議会)

